

## コロサイ人への手紙第四週: “神秘と成熟”

スティーヴ・ミッチェル  
2024年・2月・25日

動き 1: 始まり

教会ニュースからの移行...

聖書の一節を読んで、「なんということだ?!」と思ったことある人はどれだけいるでしょうか。

正直に言ってください。手を挙げて構いません。誰もあなたを黙って判断していません。

そうでない場合は、次のようなものに遭遇したことがないかもしれません:

出エジプト記 23:19 ...子ヤギを母親の乳で調理してはなりません。私は人生でたくさんの間違ったことをしてきましたが、それはそのうちの一つではありません。

レビ記 11:13-19+29 コウモリを食べてはいけません。わかった。チェック。

イタチ、ネズミ、トカゲ、ヤモリ、トカゲ、カメレオンなどの間食も禁止です。おそらく猫も立ち入り禁止です。わからない。

レビ記 19:19 生地を混ぜることはできません。ポリ混紡、ドライフィット、またはその他の高機能スポーツウェアは禁止です。おっと、ごめんなさい、ナイキ...

レビ記 19:27 ひげを剃ってはいけません。皆さん今朝は爽やかな気分です、うおお!

出エジプト記 22:2-3 強盗を殺せるのは夜だけです。それで、彼らが日中に侵入した場合、あなたは彼らに食事を作りますか?

今朝の箇所は、これらの箇所の一部に少し似ています。

それは苦しみへの奇妙な言及から始まります...

聖書をコロサイ人への手紙 1 までめくるかスクロールしてください...席の聖書、833 ページ

一緒に読書を始めましょう。

動き 2: 苦しみの中の僕たちの喜び

”今わたしは、あなたがたのための苦難を喜んで受けており、キリストのからだなる教会のために、キリストの苦しみのなお足りないところを、わたしの肉体をもって補っている。”

コロサイ人への手紙 1:24 口語訳

ですから、私たち全員が、ある者は他の者よりも苦しんできたことを認めることから始めましょう。

ストーリー: (ここでもっとハートのリフを...)

傷や傷跡、そしてそれらが語る物語を体験することなく、この世界の旅を終える人は誰もいません。

しかし、私たちが通常、苦しみから連想するのは「喜び」です。

ですから、ポールが苦しみながらも喜びながらも二人を結びつける撮影現場から出てきたときは、頭が痛くなるような出来事でした。

彼を理解するためには、パウロが特定の種類の苦しみを念頭に置いていることを知る必要があります。

コロサイ人への手紙 3 章でパウロは、「キリストのことを心に留めなさい」と書いています。

その聖句のメッセージ版にはこう書かれています。「...神の視点から物事を見なさい。」

私はそれが好きです。なぜなら、私たちが生活の中で神をどのように認識するかは、私たちがどのように生きるかに大きな影響を与えるからです...

...特に苦しみなど、引き金となる可能性のあるものを考えるときはそうです。

したがって、パウロが 24 節を「今」で始めているとき、彼は私たちに彼の視点への鍵を与えています。

この言葉は、私がローマの刑務所に座っている間、苦しんでいるのと同じように、「今」を意味するかもしれません...

しかし、彼がこれから共有しようとしていることを考えると、「今」は彼が第 1 章の最初の部分で書いたこととこれから言おうとしていることを結びつけるものであると私は信じています。

「ねえ、私が今話したすべてのことは、あなたたち、コロサイのあなたたち全員、そして異邦人の使徒である私にとって何を意味するかということです。

彼はこう言っています。「私が今苦しんでいることも、過去に苦しんできたことも、神の国の誕生の苦しみの一部だから意味があるのです。

彼はイエスの復活が苦しみに値する新たな現実の到来をもたらしたと100%信じています。

この新しい現実、パウロが第一章で書いている「御子の王国」は、パウロが「闇の支配」と呼ぶものの緊張関係の中に存在します。

ヘブライ人への手紙の筆者はこう述べています:

”信仰によって、モーセは、成人したとき、パロの娘の子と言われることを拒み、罪のはかない歓楽にふけるよりは、むしろ神の民と共に虐待されることを選び、キリストのゆえに受けるそしりを、エジプトの宝にまさる富と考えた。それは、彼が報いを望み見ていたからである。”

ヘブル人への手紙 11:24-26 口語訳

彼は虐待されることを選びました...前を見据えていたからです。

モーセはパウロがもっとはっきりと見たものをぼんやりと見ていましたが、彼らの反応は同じでした。

私を経験したこの虐待、この苦しみが福音の針を動かすなら、それをもたらしてください。

しかし、パウロが進んで苦しむのは、それが何らかの効果があると思ったからというだけではありません。

彼はまた、キリストの体である教会の一部として彼らとつながっているのです、それは意味のあることだと信じていました。それは「足りないものを補う」という部分です。

私たちの文化では、ポールが会ったこともない人々とどれほどのつながりを感じていたのかを理解するのは困難です。彼がそれをどのように説明するかを聞いてください:

”わたしが、あなたがたとラオデキヤにいる人たちのため、また、直接にはまだ会ったことのない人々のために、どんなに苦闘しているか、わかってもらいたい。”

コロサイ人への手紙 2:1 口語訳

パウロの視点、神の救いの業とともに担われているという感覚、そして自分と腕や足と同じように自分とつながっていると考える人々への献身、これらすべての力強い認識が、苦しみの真ただ中で幻滅と絶望から彼を動かし、喜び。

ストーリー: 母の死と CNA の市民権をめぐるコミュニティ

それは奇妙なマゾヒズムではありません。

ポールは、苦しみが神聖な共同空間を生み出すと信じています。

それは、福音の充満が満たそうとする洞窟を切り開きます。

この聖句をさらに深く読んでいくと、パウロの野心は決して彼の痛みから解放されることではなく、彼が深く愛しているこの目に見えない人々が神の神秘に魅了され、成熟するのを見ることであることがわかります。

25節から29節を読んでみましょう。

### 動き 3: 神秘と成熟

”わたしは、神の言を告げひろめる務を、あなたがたのために神から与えられているが、そのために教会に奉仕する者になっているのである。その言の奥義は、代々にわたってこの世から隠されていたが、今や神の聖徒たちに明らかにされたのである。神は彼らに、異邦人の受くべきこの奥義が、いかに栄光に富んだものであるかを、知らせようとされたのである。この奥義は、あなたがたのうちにいますキリストであり、栄光の望みである。わたしたちはこのキリストを宣べ伝え、知恵をつくしてすべての人を訓戒し、また、すべての人を教えている。それは、彼らがキリストにあって全き者として立つようになるためである。わたしはこのために、わたしのうちに力強く働いておられるかたの力により、苦闘しながら努力しているのである。”

コロサイ人への手紙 1:25-29 口語訳

このセクションのつながりを理解できましたか？

パウロは、自分の使命、つまり彼が課せられた唯一の野心は、成熟したキリストの局所的な体を通してその力と美しさを表現する神の神秘と結びついていると考えています。

両方のアイデアを見てみましょう。

まず、謎は謎ではありません。それは計画です。

そしてその計画はこうです：「...あなたの内にあるキリスト、栄光の希望。」

ローマ人への手紙 8:17 でパウロはこう言っています：

”もし子であれば、相続人でもある。神の相続人であって、キリストと栄光を共にするために苦難をも共にしている以上、キリストと共同の相続人なのである。”

ローマ人への手紙 8:17 口語訳

苦しみについて話すか栄光について話すかにかかわらず、私たちは神との関係、そしてお互いの関係のゆえに、神がなさっておられることに民として参加しています：

頭と体

救助者と救助された

遺産を共有する父親と子供たち

神、聖霊は私たちの中に、そして私たちと共におられる

この神秘的な計画が展開されるにつれて、その目的は、コロサイのような地方団体を通じてこの「栄光の希望」を成熟した表現にすることです。

私たちのような。ポールの話をもう一度聞いてください：

”わたしたちはこのキリストを宣べ伝え、知恵をつくしてすべての人を訓戒し、また、すべての人を教えている。それは、彼らがキリストにあって全き者として立つようになるためである。わたしはこのために、わたしのうちに力強く働いておられるかたの力により、苦闘しながら努力しているのである。”

コロサイ人への手紙 1:28-29 口語訳

それでは、キリストにおける完全な成熟とは、地域の体の中でどのようなものでしょうか？

これを忠実に表現したような気がします：

”わたしは、新しいいましめをあなたがたに与える、互に愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互に愛し合いなさい。互に愛し合うならば、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての者が認めるであろう。”

ヨハネによる福音書 13:34-35 口語訳

誠実な敬虔な愛情でお互いを優しく思いやり、神の魅惑的な愛の説得力のある肖像となる人々ほど輝かしいものがあるでしょうか。

それは神が聖霊なる方として惜しみなく私たちに分かち合ってくださいました愛の最高の具体化ではないでしょうか？

そして、神の栄光、その威厳の恐るべき重みは、この種の愛、文字通り愛である神の愛によって最もよく表されるのではないのでしょうか？

私はこれらの質問に対する答えは「はい」であると心から信じています。

また、もし私たちがこのことを理解し、私たちに対する神の愛の広大で説得力のある性質を本当に理解するなら、イエスが命じられたようにそれが私たちの間で表現されるのを見ることができようかと私は信じています。

これがパウロが私たちに勧める成熟への第一歩であると私は確信しています。彼がローマ人への手紙 5 章でこれをどのように組み立てているか考えてみましょう：

”わたしたちは、さらに彼により、いま立っているこの恵みに信仰によって導き入れられ、そして、神の栄光にあずかる希望をもって喜んでいる。それだけではなく、患難をも喜んでいる。なぜなら、患難は忍耐を生み出し、忍耐は錬達を生み出し、錬達は希望を生み出すことを、知っているからである。そして、希望は失望に終ることはない。なぜなら、わたしたちに賜わっている聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからである。”

ローマ人への手紙 5:2-5 口語訳

進行状況に注目してください：福音のための苦しみ、着実な忍耐、これらすべては御霊によって直接明らかにされた神の愛を前提としています。

神に源を見出す愛は常に私たちに成熟へと導きます。

この写真を上映してください：

[https://drive.google.com/file/d/1C4EugbF1JUeZpToMbv\\_FPC8k8ui-Abh2/view?usp=sharing](https://drive.google.com/file/d/1C4EugbF1JUeZpToMbv_FPC8k8ui-Abh2/view?usp=sharing)



フィアの話:「すごい数ですね、ゴンゴン！」+「病気だったのですが、今は良くなりました。ゴンゴン、愛してるよ。」

しかし、愛には手入れが必要です。注意が必要です。ポールがこれをどのように組み立てているかを聞いてください:

#### 動き 4: 一緒にガーデニング

コロサイ 1:29-2:2-5

この目的のために、私はキリストが私の内に力強く働いてくださるすべてのエネルギーと懸命に闘っています...私の目標は、彼らが心を励まされ、愛で団結し、完全な理解の豊かさを得ることができるようにすることです。神の奥義、すなわちキリスト、3 その中に知恵と知識のすべての宝が隠されているのです。私は肉体的にはあなたのもとにいませんが、霊においてはあなたとともに存在し(G)、あなたがいかに規律正しく(H)、キリストへの信仰がどれほど強い(I)かを見て嬉しく思います(J)。

彼はあらゆる手を尽くして、これらの教会が成熟し、(集合的に)「神の神秘、すなわちキリストを知ることができるように」「争っている」のです。

彼は彼らを励まし、愛で団結することを望んでいます。

またまた「愛」という言葉が出てきました。「互いに愛し合いなさい」という意味です。

そうやって彼らはこの謎を体験的に知ることになるのです。  
このようにして、神秘が神学から肉体へと移っていくのです。  
この謎には奇跡があります。私たちの中にある神の愛が米国を変えています。

この手紙の後半でパウロは、愛を衣服のように着てほしいと伝えています。

それは彼らの、そして私たちの体の輪郭を定義し、それを名誉ある魅力的な方法で他の人に提示する必要があります。

愛は美しく実りあるものであるべきです。まるで庭園のよう。

先月、オナヘ・ジェファーソンがここで礼拝を導いた。あの日のことを覚えている人もいるでしょう。

パウロがコロサイの人々と一緒にいるように、オナヘも物理的に私たちと一緒にいることはめったにありません。

しかし、彼は自分自身を「この家の息子」だと言いました。

彼が初めてソロの率直な礼拝牧師として指導したのは、十代を過ぎたばかりのこの地でした。彼の心はこの場所に結びついています。

1月28日、神様はご自分を通して私たちに言葉を与えてくださいました。

オナへさんは、神は過去数年間の不毛さをご覧になったと語った。  
何十年も前にここで語られた約束が今も生きているということ。  
もうすぐガーデンシーズンに突入するということ。  
神は私たちの最近の砂利を肥沃な土壌に変えておられるということです。

この励ましの言葉は、庭園の比喩を中心に描かれていました。

ここで重要なのは、比喩が重要であるということです。それらは単なる詩的な繁栄ではありません。

そして、オナジェが語った庭園の季節、つまり新たな収穫と実りの時期ですが、その庭園には手入れが必要です。

実を結ぶ前に成熟する必要があります。

その庭は私たちです。

私たちは庭であり、庭の手入れをしています。  
パウロが言っているように、私たちは園をめぐって争うのです。  
それにはキリストのエネルギー、相互愛、規律、そして確固たる信仰が必要です。

神はご自分の役割を果たしてくださるでしょう。  
彼は砂利を豊かな土に変えてくれるでしょう(ジェイミー・リリー、ありがとう！)  
彼は種を植えるでしょう。彼はすでに持っています  
彼は助けが必要な人たちを救ってくれるだろう  
...光の王国で闇の支配を克服する  
...石のように冷たい心を、彼に対して温かいものに変える

そして私たちも？私たちはお互いを必要とします。

80歳には18歳が必要です。

祖父母には孫が必要です。

親と子はお互いを必要としています。

私たちが庭の手入れをするなら、この家の兄弟姉妹はお互いが必要です。

なぜなら、ここで重要なのは、これを一緒にやらなければ、まったくやらないからです。

## 動き 5: 返事

セットアップ: これから歌おうとしているレスポンスソングに次のような行があります。

「聖霊様、どういたしまして。」

これを歌ったり、聞いたりしながら、その意味を考えてみてください。自分自身に質問して、神の答えについて心を開いてください。

この美しい神秘、つまり集合的な「あなた」の中の神をより成熟した表現へと導いてくださる聖霊をどのように歓迎しますか？

### 祝祷

皆さんが男性も女性も、兄弟姉妹も、人生のどんな冒険でも福音のために喜んで受け入れることができますように。今明らかになった美しい神秘、あなたの中のキリスト、私たちの中のキリスト、栄光の希望を知っていただけますように。

そして、信仰をしっかりと確立した成熟した協力者として園の手入れをして、神の約束された収穫が豊かになりますように。

救世主イエスの御名において。アーメン。